

多くの制約とストレスのなかで

校長 片山 亮一

2か月にわたる臨時休業をようやく終え、いよいよ学校が再開されます。

新年度に入って、2、3年生が登校したのは4日間、1年生については入学の日を含めたわずか2日間でしたので、6月からの学校再開は新学期をスタートさせるようなものです。

しかしながら、新型コロナウイルスへの感染リスクを減らすための「新しい生活様式」が学校生活にも求められ、制約にしばられストレスを感じざるを得ないなど、新鮮さや期待感に満ちあふれたものとはかけ離れたものとなってきます。

学校では、ホームページでの情報発信、学級担任による電話連絡、学習プリント等の配付、子どもたちに直接会う家庭訪問、2つのグループによる「分散登校」など、学校再開に向けた関わりを段階的に進めるなか、再開後の学習スタイルや給食の実施方法、消毒を含む清掃の仕方、生徒会活動や部活動での配慮について、様々な場面を具体的に想定しながら『新しい生活様式（雄中版）』を策定してきました。この新しいスタイルについて、子どもたちとともに確かめ合いながら6月をスタートさせていきます。

さて、先日の家庭訪問では「居心地のよい学校生活をスタートさせるためのアンケート」を配付し、その回答を分散登校のなかで回収しています。

悩みや心配事は一人一人異なりますが、やはり1年生では「新しい友達ができるだろうか」「勉強についていけるか心配だ」など、新たな中学校生活への不安が多く挙げられています。2年生では「体育大会や部活動はどうなるのだろうか」といった今後の見通しについて、そして3年生ではそれらに加え、やはり進路選択への不安が多いようです。

これらの不安を解消するために学級担任が既に面談を始めており、6月に入って早々に教育相談も実施する予定です。

学校生活を再開させる今、私が最も気になっていることがあります。それは『マスク越しのコミュニケーション』です。

顔の半分以上がマスクで覆われ、口元がまったく見えず、「互いの目」でしか相手の気持ちを読み取れない状況が心配です。『目は口ほどに物を言う』という言葉があり、目さえ見えていればという考えもありますが、中学生ぐらいになると逆に「心の内」を誤解して捉えたり、そのことがいつまでも気になって不安を募らせたりすることも考えられます。

その意味では、伝える言葉の選び方や言葉かけなど、互いのコミュニケーションについて問い直すことが強く求められているのではないのでしょうか。

家に帰れば子どもたちも私たち大人も、ずっと顔を覆っていたマスクを外します。何よりもホッとすることははずです。きっとそこには、つい数か月前までは気付いていなかった家族の優しさや温かさ、魅力が満ちあふれているはずです。その家族の温かなコミュニケーションと豊かな表情がそれぞれの家庭の「明日への活力」となることを願ってやみません。



6月の主な予定

1日（月）	学校再開	12日（金）	避難訓練
3日（水）	標準学力検査（1年生：～4日）	15日（月）	学校集金口座振替日
5日（金）	部活動紹介	19日（金）	部活動発足
8日（月）	教育相談週間（～26日） 部活動体験入部（～12日）	23日（火）	中教研学力調査（2、3年生：～24日）
		24日（水）	生徒総会

学校図書館の臨時開館で読書に親しむ

臨時休業中に、生徒の皆さんの過ごし方の一つとして読書を楽しんでもらおうと、希望する生徒に雄山中学校の図書館を臨時で開館しました。感染拡大防止の『3密』を避けるために来館の日時を学級や出席番号で割り振りました。久しぶりに登校した生徒たちは不安げな表情を浮かべながらも、慣れ親しんだ図書館で本を選んでいくうちに、表情が穏やかになっていきました。



お気に入りの本を借りる1年生

質問教室で3年生が久々に登校

5月19日(火)に『3年質問教室』をランチルームで行い、学習や進路選択、日常生活の相談に教員が応じました。新型コロナウイルスの感染防止のために消毒をしっかりと行い、テーブルの間隔を十分にとるなどして、登校の不安を軽減しました。参加した生徒たちは久々に話せる友達からたくさんの元気をもらい、分からない箇所を教師に進んで質問するなど、改めて意欲的に学習を進めていました。



間隔をとり課題に取り組む生徒

【生徒へのアンケートやインタビューから】

- 臨時休業期間中はどのように過ごしましたか。
 - ・勉強、SNS、読書、運動。
 - ・ゲームをしたり友達と通話をしたりと、普段できないことをたくさんした。
- 学校にしばらくぶりに登校してどう思いましたか。
 - ・多少の不安はありましたが、先生方や友達と会えてうれしいです。
 - ・友達とたくさんおしゃべりができてとても楽しかったです。
- 今後はどのようにして過ごしていきたいと思いませんか。
 - ・大きなショッピングセンターには行かず、学校生活を楽しみたいです。
 - ・体調を崩さないよう、いつも以上に手洗いやうがい、消毒をしたいと思います。



丁寧に質問に応じる教師

「分散登校」も始まりました！

段階的な教育活動の再開を目的に、5月21日(木)から「分散登校」がスタートしました。学校における感染とその拡大のリスクを可能な限り低減しながら、それぞれが3日間登校しています。校舎のいたるところで、元気な声や笑い声が響いていました。



久しぶりに登校する生徒たち

【生徒へのアンケートやインタビューから】

- 臨時休業中は、計画どおりに学習を進められましたか。
 - ・学校のようにメリハリをつけられず、計画どおりとはいきませんでした。
 - ・意外と計画どおりにできました。もう少し課題があってもよかったです。
- 生活が一変してしまいましたが、どのようなことに気を付けていますか。
 - ・生活のリズムが崩れないように、起床や就寝時間を守り、学習や運動にこまめに取り組みました。
- この3か月間で変わったことはありますか。
 - ・家でもウイルス対策をするようになり、ちょっと家族間がピリピリしていました。
 - ・家族とたくさん会話ができて、家族の仲が深まりました。
- タブレット学習は利用しましたか。
 - ・少し利用してみました。数学や理科、社会ではまだ学習していない内容があり、ちょっと難しく感じました。



生徒玄関では検温が可能です



「3密」に配慮した教室環境